お盆期間の首都圏からの人流21年比1.4倍　コロナ前の8割

#東京 #新型コロナ #関東

2022/8/23 19:24

2022年のお盆期間中（11～16日）に首都圏（東京・埼玉・千葉・神奈川の1都3県）からの1日あたりの移動人数が21年比で1.4倍に増えたことが民間の調査で分かった。3年ぶりに行動制限のないお盆休みとなり、帰省や旅行に出かける人が多かった。新型コロナウイルス感染拡大前の19年比では79.5%にとどまった。

調査はソフトバンク子会社で、位置情報ビッグデータを手掛けるアグープ（東京・渋谷）が、お盆期間中の携帯電話の位置情報を基に分析した。

1都3県からの人流の伸びが21年比で最も大きかったのは北陸エリアの2.4倍で、中国・四国エリアの2.1倍、東北エリアの2.0倍が続いた。

ただ、19年と比べて増えたエリアはなく、減少幅が最も小さかったのは九州・沖縄エリアの7.8%減で、減少幅が最も大きかったのは東北の40.9%減だった。

また、大阪・京都・兵庫の2府1県からお盆期間に移動した人数は21年比で1日あたりで1.5倍に増え、コロナ前の19年と比較しても98.1%とほぼ同水準にまで回復した。特に近畿圏内への近距離移動は唯一増えて4.2%増となった。

2022年のお盆期間中（11～16日）に首都圏（東京・埼玉・千葉・神奈川の1都3県）からの1日あたりの移動人数が21年比で1.4倍に増えたことが民間の調査で分かった。3年ぶりに行動制限のないお盆休みとなり、帰省や旅行に出かける人が多かった。新型コロナウイルス感染拡大前の19年比では79.5%にとどまった。

調査はソフトバンク子会社で、位置情報ビッグデータを手掛けるアグープ（東京・渋谷）が、お盆期間中の携帯電話の位置情報を基に分析した。

1都3県からの人流の伸びが21年比で最も大きかったのは北陸エリアの2.4倍で、中国・四国エリアの2.1倍、東北エリアの2.0倍が続いた。

ただ、19年と比べて増えたエリアはなく、減少幅が最も小さかったのは九州・沖縄エリアの7.8%減で、減少幅が最も大きかったのは東北の40.9%減だった。

また、大阪・京都・兵庫の2府1県からお盆期間に移動した人数は21年比で1日あたりで1.5倍に増え、コロナ前の19年と比較しても98.1%とほぼ同水準にまで回復した。特に近畿圏内への近距離移動は唯一増えて4.2%増となった。